

令和6年 2月

第149号

# ひまわり通信

株式会社ヨコレイ ひまわり発電所

皆様こんにちは、設計技術課のイノウです。梅の花が見頃を迎えていますね。春の足音が少しずつ近付いているように思えます。それでは今月も、ひまわり通信にお付き合いください。

## 「改正省エネ法」、何が変わった？ 3つのポイント

2023年4月に施行された改正省エネ法。法律名も「エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律」へと変わり、各事業者は徹底した省エネの強化と、非化石エネルギー導入に一層取り組むことが求められます。今回、法改正が行われた主な目的は以下の2つです。

### ①徹底した省エネの継続 ②再生可能エネルギーの導入拡大

それでは、具体的な改正のポイントについて説明いたします。

#### 改正のポイント①：エネルギーの定義見直し

改正によって、省エネ法が定める「エネルギー」の定義が見直されます。2023年3月31日まで、省エネ法で「エネルギー」となるのは化石エネルギーに該当するものだけでした。それが2023年4月からは、化石エネルギーに加え、太陽光や風力といった「再生可能エネルギー」も省エネ法の対象となります。再エネに含まれる「水素」や「アンモニア」は石油や石炭と同じように資源が豊富な海外から輸入する必要があるため、無駄遣いを防ぐことが重要となるのです。

#### 改正のポイント②：電気の需給状況の最適化

これまでの省エネ法では、政府は「昼夜を問わず、一日の電力使用量を一定にすること」を求めてきました。しかし今回の改正では、平準化ではなく「電気需要の最適化」が求められます。これは「電力の供給量に合わせて電気の使用量をコントロールしよう」という取り組みです。

#### 改正のポイント③：再生可能エネルギーへの転換

今までは、再生可能エネルギーを導入するかどうかは、各法人の自主性に委ねられていました。今回の改正により、対象の法人は再生可能エネルギーを導入しなければならない明確なルールが作られました。さらに「今後、再生可能エネルギーをどう増やしていくか」という中長期計画の作成や、再エネ使用状況の定期報告が必要となります。

省エネ法で定められた義務に取り組んでいない、目標を達成する見込みがないとみなされた場合、企業名の公表や罰金などの罰則が設けられます。逆に、省エネの取り組みが評価された場合、省エネ関連の補助金申請の評価が上がる（太陽光発電設備の導入費用など）などのメリットがあります。



## かるがもマラソンに参加しました！

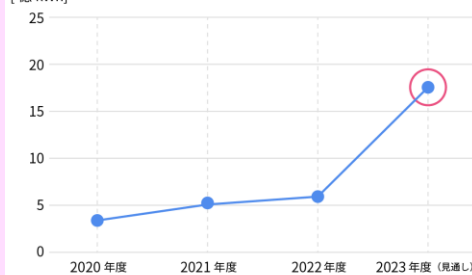
2月18日（日）、保土ヶ谷公園にて開催された第32回かるがもファミリーマラソン大会に協賛及びランナーとして参加いたしました！ヨコレイ社員4名、社員の友人2名の計6名で、それぞれ5kmの部と10kmの部に参加しました。公園内のコースは坂道が多く難関でしたが、天候にも恵まれ、無事全員が完走を果たしました！



## 九州・中国エリアで「出力制御」急増、太陽光発電事業者に“不安と動揺”

昨年、九州・中国・四国エリアで、再生可能エネルギー発電設備に対する出力制御（出力抑制）が急増し、発電事業者に困惑が広がりました。出力制御とは、発電量を抑えて電力の需給バランスを保つことによって、送配電設備の不具合・大規模停電等を防止する措置のことです。JPEA（日本太陽光発電協会）の集計によると、九州エリアでは、2022年度の総抑制量が4億3800万kwhだったのに対し、2023年は4月の単月だけで抑制量が3億7100万kwhに達しました。また、中国エリアでも2022年度の1年間で3900万kwhに過ぎなかったのに対し、2023年度は4月の単月だけで、前年度の3.6倍に相当する1億4200万kwhに抑制量が急増しました。太陽光設備の導入が全国的に増加したため、需要が低い春などの中間期に「発電量過多」になり始めたことが出力抑制増加の背景にあります。太陽光発電の売買では、設備だけでなく、発電した電力を決まった価格で大手電力に買い取ってもらう権利も取引されます。そのため、想定外の出力制御が続き発電停止を迫られたことで、2023年は投資物件売買サイトへの太陽光発電の売却依頼が急増し、1～6月は前年同期比で約2.3倍の売却依頼があったようで、一部は買い手が見つからない状況が続いています。

【億 kWh】 全国出力制御量の推移（2020年度～2023年度）



## 【全国初】公立特別養護老人ホームで「ZEB」認証を取得

令和5年12月26日、品川区は公立の特別養護老人ホームでは全国初となるZEB認証を、品川区立八潮南特別養護老人ホーム 増築棟において取得しました。品川区では、長期基本計画や総合実施計画に基づき、快適な室内環境を保ちながら建築物の年間消費エネルギー量が大幅に削減された建築物である「ZEB（ネットゼロエネルギービル）」や「ZEH-M（ネットゼロエネルギーハウス マンション）」の建設を進めています。八潮南特別養護老人ホーム 増築棟は、外壁やサッシ等の断熱性能を高めるとともに、高効率の空調設備や太陽光発電システムの設置により、設計段階で建築物のエネルギー消費量の58%削減を実現しました。本件を含め、区有施設の「ZEB」認証取得は6施設、「ZEH-M」を含めると7施設となり、品川区は全国で最大の取得数を有する自治体となります。区は脱炭素の実現に向け、今後も「ZEB」等の認証取得をはじめとした施設整備を継続していく方針です。



### ☀️ヨコレイ太陽光発電 今月の実績☀️

（期間：1/1～2/1）※（ ）内は前月の実績

- 発電した電気量 : 629.5 kWh ↓  
( 680.6 kWh)
- 東電への売電量 : 123.0 kWh  
( 135.0 kWh)
- 売電金額 : 4,551 円  
( 4,995 円)

### ■この期間の横浜市の天気概況 <気象庁HPより>

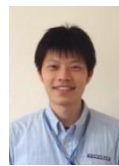
※（ ）内は前月の実績

- 日照時間 : 212.3 時間 (204.4 時間) ↑
- 平均最高気温 : 12.2 °C (14.6 °C) ↓

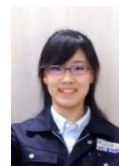
私たちが『ひまわり通信』を  
担当しています



アゲタ



カサノ



イノウ



クロダ

(株)ヨコレイ 太陽光発電関連サイト

**ひまわり発電所**

<https://yokoray.co.jp/himawari>



ひまわり発電所

検索

**0120-37-4501**

（受付時間 9:00～18:00 土日祝日を除く）

※本紙の送付停止をご希望の方は、ご連絡ください※